



# 第22回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

テーマ：【在宅医療における薬剤師の連携】

講師/一般社団法人 春日部市薬剤師会 薬剤師 高橋清哲氏  
令和6年2月22日（木）12:00～公開 YouTube配信



## 第22回春日部市医療介護職連携研修・交流会 ～オンライン研修会～

『在宅医療における薬剤師の連携』

講師  
春日部市薬剤師会  
ウエルシア薬局春日部市立医療センター前店  
薬剤師 高橋清哲氏



### 薬剤師として苦勞や失敗例 1

- 遠方の自宅へお届け
- お話しうどうも処方内容が合わない
- 処方間違い
- 薬局へ戻って
- 再度調剤、お届け



### 薬で医療介護職と患者様を繋ぐ

- 介護職、医療職からも気さくに話せる薬剤師を増やす
- 春コンはとてもいい場所
- これからも薬剤師とご協力
- よろしくをお願いします！



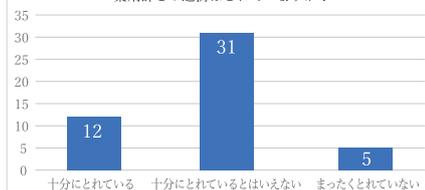
ウエルシア薬局春日部市立医療センター前店  
薬剤師 高橋清哲氏

### 2. 日常の在宅患者（利用者）支援において、薬剤師との連携の状況と具体的なその理由

①【十分にれている】	②【十分にれているとはいえない】	③【まったくれていない】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等で密に連携が取れているため（医師/看護師/社会福祉士）</li> <li>・随時向うたり連絡でやりとり、相談やアドバイスも頂いています。（居宅介護支援事業所/CM）</li> <li>・その都度の連絡を取り合っているから（施設事業所/看護師）</li> <li>・行政のため、直接在宅患者の支援は行っていないが、連携の促進を行っています。（行政/薬剤師）</li> <li>・素早く対応して下さいますので、助かります。安心（訪問事業所/看護師）</li> <li>・認知症の方の薬について、訪問薬剤師の対応を迅速に行っていた。がん末期の患者さまが処方箋を取りに行けなくてどうしたら良いか相談をした際、とても気さくにお話を聞いてくださった。（包括支援センター/CM）</li> <li>・ケアマネさんが薬局で状況を教えてくれる。（薬局/薬剤師）</li> <li>・ほとんどの薬局の薬剤師は快く対応して下さる。（訪問事業所/看護師）</li> <li>・報告書を送ってくれて助かります（居宅介護支援事業所/CM）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師側からの一方的な処方箋のやり取りが多い（薬局/薬剤師）</li> <li>・薬剤師はまだまだ敬儀的外的な存在で、利用者様が入院されたのにも知られない事がありました。（薬局/薬剤師）</li> <li>・訪問医療機関が紙ベースや電話対応のみ等、アナログで連携しにくい場合や、柔軟に対応してくれない医師がいる。（薬局/薬剤師）</li> <li>・やることと多すぎて、連携とずらい（薬局/薬剤師）</li> <li>・訪看等からの情報提供を待つだけではなく、薬剤師の方からも積極的に話し合う場を持って欲しいと思います。薬を届けるだけではなく、可能な範囲で残薬・薬手帳を確認していただきたいです。（訪問事業所/看護師）</li> <li>・薬局から医者に話をしてほしいとか、ケアマネに丸投げもある（居宅介護支援事業所/CM）</li> <li>・残薬や薬の管理ができないなどがあるが、介護の対応や病院の相談で何とかできないか考えてしまう。薬剤師さんに相談が避けられてしまう（包括支援センター/看護師）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住診患者が少ないため。（歯医診療所/歯科医師）</li> <li>・現状、関係する職務でないため（行政/薬剤師）</li> <li>・実施していないため（行政/薬剤師）</li> <li>・老健職員の為（施設事業所/CM）</li> </ul>

連携はできて  
いるかな？

### 3. 日常の在宅患者（利用者）支援において、薬剤師との連携はとれていますか？ n=48



薬のプロの  
薬師がご自宅へ  
お伺いします！

薬剤師は、地域の医療・介護の専門家とチームを組んで在宅医療に取り組んでいます。

薬剤師は、地域の医療・介護の専門家とチームを組んで在宅医療に取り組んでいます。



春日部市医師会 会長 中村靖史 様



春日部市在宅サービス多職種連絡協議会  
会長 竹田 広樹 様



春日部市長  
若谷 一弘 様



春日部市在宅サービス多職種連絡協議会  
副会長 遠藤 賢 様



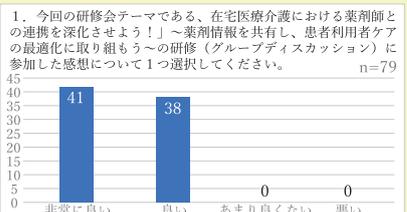
春日部保健所  
所長 田中 良明 様

# 第23回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

【在宅医療介護における薬剤師との連携を深化させよう！】

～薬剤情報を共有し患者利用者ケアの最適化に取り組もう～

令和6年5月15日（水）19:30～21:00 東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」1階



春日部市地域包括ケアシステム推進センター  
副センター長 南本 浩之 様



## 研修（グループディスカッション）に参加した感想！

- ・薬局の取り組みから客となる高齢者宅への宅配などがあると知り負担が減る仕組みができているのだとわかりました。（介護職/通所事業所）
- ・薬局は本来もっと相談しやすい場所でないといけませんが、まだまだ敷居が高いことを実感しました。私自身は患者さん宅に直接訪問はしていませんが、訪問薬剤師の役割への期待は大きいのではないかなと思いました。（薬剤師/医診療所）
- ・日頃から在宅医療をすすめていく中で課題だなあと感じていたことがまさに今回のテーマとなっていたので、とても有意義なディスカッションができました。短時間のディスカッション内で解決できるようなテーマではもちろんないのですが、他職の方々が感じていること大切なことだと感じています。（薬剤師/薬局）
- ・薬剤師の職能が十分に活用されておらず、理解も進んでいないことを実感しました。もっと努力が必要だと反省しています。（薬剤師/薬局）
- ・薬剤師との連携やポリファーマシーについて、情報交換ができて良かったです。（薬剤師/薬局）
- ・薬剤情報を患者のみにしか渡さない、1枚しか渡さないと、訪看さんなどほかの職種が困るという状況が分かった。名刺も手帳とリンクさせると良い。（薬剤師/薬局）

# 第24回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

## テーマ：「いま知ってほしい地域包括支援センターの取り組み」

～地域ケア会議からはじまる地域づくり～

令和6年8月23日（金）12：00～公開YouTube配信



### 研修に参加した専門職の感想！！

（訪問事業所/看護師）

- ・高齢者が増え在宅の必要性が増すなかで、要となる地域包括支援センターの役割を学ばせていただきました。今住んでいる地域にも目を向け、何か問題を目にした時は情報提供したいと思います。



（居宅介護支援事業所/CM）

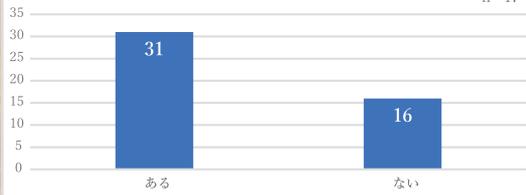
- ・地域ケア会議の意義、包括支援センターの役割がよくわかりました。・地域資源や地域活動についての理解を深める事ができた。
- ・ケアマネとしても社会資源を提案したくても詳しい情報を知りえることができていなかったため、とても勉強になりました。
- ・「生活コーディネーター」が何をやる人なのか知れてよかった。
- ・内容は理解できたが、コーディネーターがアドバイスしてくれることはわかったが、活動によりどのような資源が新規に生まれたかなど時系列で知りたい。又、包括毎の内容ではなく、一冊にまとめてどのような地域で具体的にどのような事ができるかをその都度更新した発信先を作って欲しい。500円で解決や800円で等、具体的にどこまでやってくれるのか等を知りたい。本当にやってもらいたい人は沢山、かなりの数いますし、活動に参加したい際の足の確保方法等も教えて欲しい。限られた人しか活用できない。

（病院/社会福祉士）

- ・介護保険でのサービス以外にも選択肢が考えられることが良く分かった。しかし、実際には本人をどう説得できるのかがまた大きな課題になってくると思う。場合によっては、信頼関係構築出来ている知人に協力依頼も考慮されると思うが、今ケースでは家族ではない関係性のなかでどこまで協力してくれるか等考えてしまう。

4. 各地域包括支援センターが主催する「地域ケア会議」に参加した経験はありますか？

n=47

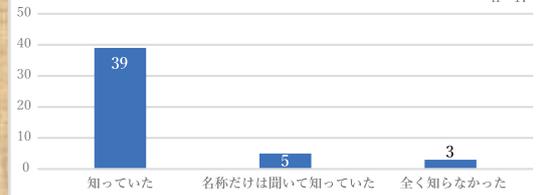


質疑応答



3. 各包括支援センターが主催する「地域ケア会議」が行われていることを知っていましたか？

n=47



### 「地域ケア会議」参加経験者の、ケア会議の印象や感想

（居宅介護支援事業所/CM）

- ・普段の業務では多職種との関わりも限定的になることが多いのですが「地域ケア会議」では目的に寄り添った意見をいただくことができ勉強になりました。
- ・いろいろな専門職からのアドバイスを聞くことができ、新たな視点で物事を考えることができ、とても良かったです。自分だけでは考えられない提案もできてとてもありがたい。
- ・資料作りから何度も作りなおし、アセスメント力が向上した。大変勉強になった。
- ・時間の設定は大事だが時間に押されて詳細やこれまでの流れを説明できないまま、〇〇の確認などで攻められているような感覚に陥る。有用な意見をいただけることもあるので良いと思う。地域ケア会議の集積された情報や動画でもあった「地域ケア会議から作り上げられた資源」という言葉。どんな話し合いが行われ、どこでどう活用されたのか周知できれば良いと思う。

（包括支援センター/CM）

- ・ケアマネとして参加していた時は比較的元気な人の事例をあげる事に違和感があった。今は意味がわかったので地域のケアマネにも伝えていこうと工夫している。

（薬局/薬剤師）

- ・個別の事業所だけだとなかなか良い案が出ないケースがある。総合的に患者様の生活が向上する様に案を出し合い検討することが出来るのが良いと思います。
- ・型にはまった代わり映えしない感じはします。教科書通りのやりとりよりもう少し掘り下げたところの話し合いを期待したいです。

### 「地域ケア会議」参加未経験の理由は？参加希望はある？

（歯科診療所/歯科医師）

- ・機会があれば参加したいです。
- （薬局/薬剤師）
- ・機会がなかった。トップが参加していて敷居が高いというイメージ。機会があれば参加したいと思う。
- （病院/社会福祉士）

- ・参加を促されたことがない。・存在を知らなかった。



## 第24回春日部市医療介護職連携研修・交流会（春コン）

### ≪「地域包括支援センター」について知りたい事・連携について聞きたい事など≫

令和6年8月23日 YouTube公開

#### <質問>

◎困っている人はたくさんいる。しかしサポートする人は極めて少ない。もちろん何もしないより良いことはわかっているが、それでも困難が多い。今後は自治会の役割が重要になってくるのではないかと感じた。それもお年寄りをお年寄りが支える環境整備が医療環境よりも優先されるべきだと思います。「おせっかい」がたくさんいる春日部が、明るい老後につながり、必要だと思います。その取り組みについて教えてください。

（薬局／薬剤師）

#### <地域包括支援センターより回答>

市内でもいろいろな「支え合い」の取り組みが始まっています。

- ① 軽度の認知症の方を地域住民同士で支える「チームオレンジ」
- ② ちょっとした困りごとを地域住民同士で解決する「おたすけ隊・力になり隊」
- ③ 男性の生きがい・役割・地域貢献について話し合う「男のセカンドライフ大学校」
- ④ フレイル予防のためのボランティアを養成し、啓発や、測定会も開催する「フレイルサポーター」
- ⑤ 自治会長・民生委員・住民で地域課題について話し合う「しゃべる場」「ささえあいミーティング」
- ⑥ 地域のイベント・通いの場などの情報を発信する「地域広報誌作成」
- ⑦ 畑仕事を通じて多世代交流を行う「ベジタ一ず若葉っちゃん」
- ⑧ 同じ悩み（介護・病気・認知症）を持つ仲間が話し合う場「家族会麦わらぼうし」「パーキンソン病患者家族会」「介護者サロン福」「ハルカフェ」「灯の会」

などが立ち上がり、活動を続けています。

地域ケア会議などで抽出された「地域課題」をもとに、「生活支援体制整備事業連絡会議」や「かすかべ支え合い会議」で話し合い、地域で必要とされる「支え合い活動」を考え、実現に向けて動いている状況です。

最近では住民同士だけでなく、一般企業や、医療・介護専門職と連携し、地域活動を作り上げている事例もありますので、詳しくは地域包括支援センターにお問い合わせください。

#### <質問>

◎管理栄養士の介入が必要なケースの場合、実際に介入に至っていますでしょうか？その必要性について教えてください。

（病院／管理栄養士）

#### <地域包括支援センターより回答>

介護保険においては、通所・入所施設には管理栄養士が常駐し「栄養加算」を算定していることが多く、栄養改善のためのアプローチができています。

また、事業対象者、要支援1・2の方に対しては、人材バンクに登録された理学療法士や作業療法士、管理栄養士など保健・医療の専門職が自宅へ短期間訪問する「訪問型サービスC」があります。

しかし、自宅に管理栄養士が訪問するサービスについては、訪問型サービスCの他には、ほとんど整備されていない状況であり、栄養リスクを抱える利用者・患者様について、通所・入所していない利用者・患者様においては、管理栄養士以外の職種（ケアマネジャー・看護師等）が介入しているケースも多くあります。

介護予防・フレイル予防の観点から、介護保険につながる前に「栄養改善の啓発が必要」と叫ばれています。

地域の管理栄養士（薬局・認定こども園）へ個別に依頼し、「オレンジカフェ」や「春フレカフェ（フレイルチェック事業）」で、フレイル予防講話など協力してもらう事はありますが、まだ件数が少なくその他の管理栄養士の協力が難しい状況です。

（病院・施設などでは所属先の業務が忙しく、外出ができないようです。）

現在は「食生活改善推進員」や「保健センター」「地域包括支援センター」が啓発する事が多くなっています。

## 【健康フェア2024】

今年もやります！

### 知ろう！自分のところとからだ～未来につながる健康ライフ～

日時：令和6年12月7日（土）8日（日） 場所：春日部市保健センター「ふれあいキューブ」

#### 【自宅でいきいきと暮らす講座】

講師：春日部市医師会 武里外科脳神経外科  
院長 遠藤 賢先生

#### 【身体計測・インボディー】

今年も計測してみましよう！！

